

1-3 海岸への要請

(1) 社会的な要請

海岸は、高潮や波浪、津波などの水害から背後地を守るだけでなく、生物の貴重な生息空間でもある。また、海岸は利用面においても、古くから祭りなどが行われ地域文化を育み、癒しや安らぎを与える貴重な空間である。また交通ネットワークや観光においても国民生活に重要な役割を果たしている。

こうした海岸の重要性は、改正海岸法のみならず、国土形成計画や県総合計画、沿岸市町の長期計画においても重要視されている。

国土形成計画における戦略的目標は以下の通りである。

- 東アジアとの円滑な交流・連携
- 持続可能な地域の形成
- 災害に強いしなやかな国土の形成
- 美しい国土の管理と継承

○ 東アジアとの円滑な交流

広域ブロックが東アジアの各地域と直接交流・連携し、アジアの成長のダイナミズムを取り込んでいく

- ・東アジアの市場をにらんだ企業の新しい発展戦略 ・観光立国の実現
- ・陸海空にわたる交通・情報通信ネットワークの形成

○ 持続可能な地域の形成

人口減少下においても、地域力（地域の総合力）の結集、地域間の交流・連携により、魅力的で質の高い生活環境を維持していく

- ・集約型都市構造への転換 ・医療等の機能維持など広域的対応
- ・新しい科学技術による地域産業の活性化 ・美しく暮らしやすい農山漁村の形成
- ・二地域居住、外部人材の活用 ・条件の厳しい地域への対応

○ 災害に強いしなやかな国土の形成

減災の観点も重視した災害対策や災害に強い国土構造への再構築を進め、安全で安心した生活を保障していく

- ・ハード・ソフトが一体となった総合的な災害対策の推進
- ・災害に強い国土利用への誘導 ・交通・通信網等の迂回ルート等の余裕性
- ・避難誘導體制の充実など地域防災力の強化

○ 美しい国土の管理と継承

美しい国土を守り、次世代へと継承するため、国土を形づくる各種資源を適切に管理、回復

- ・健全な物質循環と生態系の維持・形成 ・海域の適正な利用・保全
- ・個性豊かな地域文化の継承と創造 ・国土の国民的経営の取組

(2) 地域の要請

1) 県及び沿岸市町の長期計画

① 県の長期計画

「輝け！ちば元気プラン」－「暮らし満足度日本一」を目指して－（平成22年4月）

今、私たちは、急速な少子高齢化の進展や人口減少社会の到来、グローバル化した経済の下での世界同時不況の発生、地球規模での温暖化の進行、そして国と地方を通じた財政の危機的な状況など、かつてないほどの困難な状況に直面しています。

このような中で、私たちは様々な課題を乗り越え、光り輝く千葉を築いて次世代に確実に引き継いで行かなくてはなりません。

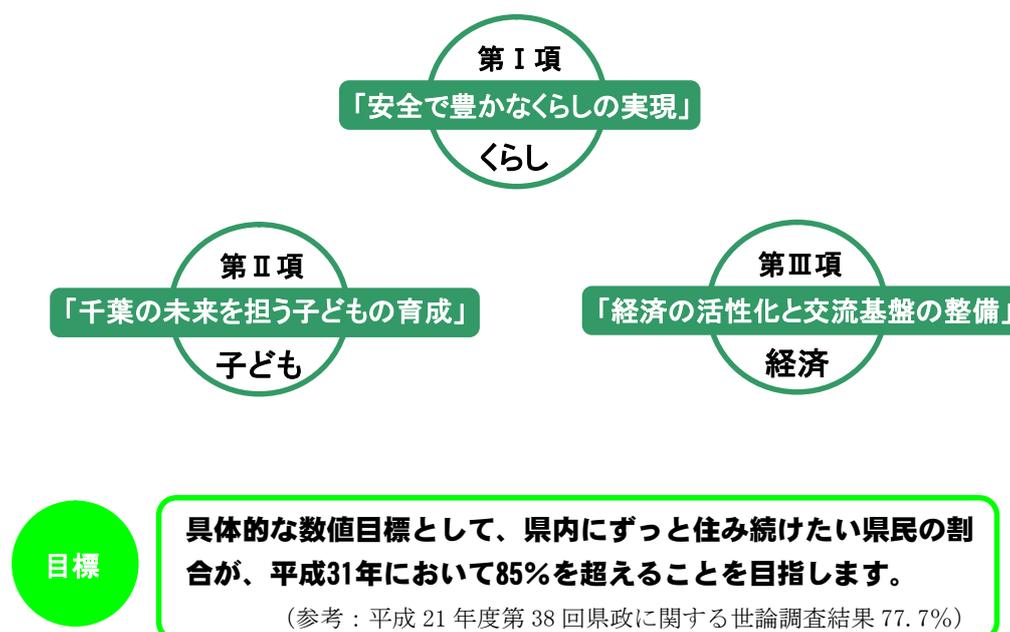
そのためには、中長期的な視点に立った県政運営が求められています。

そこで、本県では、県民の「暮らし満足度日本一」を基本理念として、千葉県の10年後の目指す姿と、これを実現するため3年間で取り組む政策・施策を示す新たな総合計画として「輝け！ちば元気プラン」を策定しました。

県総合計画「輝け！ちば元気プラン」における目指す姿（基本目標）を表1-3.1に、また「輝け！ちば元気プラン」の概念図を図1-3.1に示す。

表1-3.1 「輝け！ちば元気プラン」における目指す姿（基本目標）

基本理念の実現に向け、第2章前半の本県を取り巻く「時代背景と課題」を踏まえた上で、「暮らし」「子ども」「経済」というキーワードに着目し、次のとおり3つの基本目標を設定しました。これに沿って、10年後の千葉県の具体的な姿を示すとともに、その目標を設け、本県が進むべき方向を明らかにします。



第Ⅰ項「安全で豊かなくらしの実現」

災害に強く、事件や事故が起こりにくい、安全で安心して暮らせる地域社会づくりが確実に進んでいる。

また、安心できる医療体制の整備、充実した福祉サービスの提供、生涯を通じた健康づくりや地域コミュニティの再生が図られ、健康で生き生きと暮らせる地域社会づくりが着実に進んでいる。

さらに、多くの県民がスポーツや文化・芸術活動に親しみ楽しむことができるとともに、国際交流が盛んに行われるなど、心豊かで元気に暮らせる地域社会づくりが進んでいる。

そして、環境保全と再生に取り組み、千葉の豊かな自然が子どもたちに継承されている。

1 安全で安心して暮らせる地域社会

①	県民一人ひとりがしっかりと防犯意識を持ち、行政や地域が一体となって犯罪のない地域社会を目指す本県の取組が、全国モデルになっている。
②	大地震や風水害、土砂災害などによる被害を最小限にとどめるため、インフラ整備・改修が進むとともに、万が一、災害に遭ったときでも、地域住民同士が声をかけ、助け合い、安心して暮らすことができる地域社会が形成されている。
③	新型インフルエンザの流行など健康を脅かす事態に対して、迅速かつ的確に対応できる健康の危機管理体制が確立している。
④	県民一人ひとりに「交通事故は絶対に起こさない・遭わない」という意識が浸透し、また、交差点改良や歩道整備、標識の設置などが進み、子どもからお年寄りまでが交通事故を心配しないで街を歩いている。
⑤	災害、犯罪、交通事故などに対して、市町村・学校・消防・警察などの関係機関との相互の連携が図られ、迅速な対応ができる体制が整っている。
⑥	消費生活に関する情報が十分に提供され、身近に相談できる窓口が整い、消費者が、安全で安心できる商品やサービスを選択できる体制が整っている。
⑦	県内で流通する食品に関して、正確な情報が提供されるなど、消費者と生産者・事業者との信頼関係を築くための体制が構築されている。

2 健康で生き生き暮らせる地域社会

①	県内医療機関のネットワーク化が図られ、いつでも、どこでも、だれもが安心して治療を受けられる医療体制が整っている。
②	県民一人ひとりの健康に対する意識が高まり、自発的な健康づくりが行われている。
③	介護予防の取組が進むとともに、細やかな介護サービスが提供され、高齢者が元気に生活できる環境が整備されている。
④	障害のある人のライフステージに沿った福祉サービスが提供され、障害のある人がその人らしく暮らせる環境が整備されている。
⑤	地域コミュニティが再生され、地域住民が互いに支え合いながら、生き生きと安心して暮らしている地域づくりが着実に進んでいる。

3 心豊かに元気に暮らせる地域社会

①	行政主導の国際協力活動だけでなく、民間や個人が主体的に参加するような、県民主体の国際交流や国際協力が活発に行われ、草の根レベルのパートナーシップが築かれている。
②	グローバル化が進む中で、医療、教育、住宅など、生活に密着した分野で、外国人にも住みやすい県として、首都圏に勤務する外国人の転入が増えている。
③	多くの県民が日常生活の一部として運動に親しみ、体力の向上が図られており、また、文化活動を通じ、心豊かに暮らす人が増えている。地域には活気がある、元気が千葉県として知られている。
④	高い目標を持ってスポーツや文化・芸術活動に取り組み、全国的に活躍している人が増えている。
⑤	地域の人たちによって埋もれていた伝統文化が復活し、その文化が多くの人たちとの交流を生み、さらに新しい現代的な要素が取り入れられるなど、ちば文化の魅力が増している。
⑥	県民の県内交流が積極的に行われ、県民一人ひとりが、様々な千葉県の魅力を再発見することにより、千葉県に愛着や誇りを感じられるようになっている。

4 豊かな自然を継承し、持続的に発展できる地域社会

①	県民・企業・行政が一丸となった低炭素社会の実現に向けた取組が進んでいる。
②	県民・企業・行政が、一体となって廃棄物の削減や再利用、リサイクルに積極的に取り組み、限りある資源をどこよりも有効に活用している。
③	産業廃棄物の新たな不法投棄がゼロになっている。
④	子どもから大人まで、多様な生き物のにぎわいと互いのつながりを身近に感じ、本県のすばらしい自然の恵みに支えられ暮らしている。
⑤	本県の豊かな自然が、県内外の多くの人たちの憩いの場として、また農林水産業など経済活動の場として、しっかりと子どもたちに引き継がれている。
⑥	青い空ときれいな空気に包まれたくらしが営まれている。
⑦	河川・湖沼・海域の水環境が良好である。

第Ⅱ項「千葉の未来を担う子どもの育成」

子育てに必要な多様なサービスが提供され、地域全体で子育てを支援する体制づくりが進み、安心して子どもを生み育てられる地域社会づくりが着実に進んでいる。

また、家庭・学校・地域が一体となり、心が豊かで、身体が健やかに育ち、郷土を愛し、個性輝く子どもたちが地域社会に元氣と活気を与えている。

1 安心して子どもを生み育てられる地域社会

①	保育所の入所待機児童が解消され、多様な保育ニーズに対応した安心して任せられる保育サービスが展開されている。
②	保護者が働くなどして昼間家庭にいない放課後児童に対して、児童館・小学校の余裕教室などを利用した適切な遊びや生活の場が確保されている。
③	子育て世代の経済的負担が軽減され、地域社会全体で安心して子育てを支援する体制が整備されている。
④	児童虐待に迅速に対応できる地域ネットワークが整備されているとともに、虐待などを被った児童の受け皿となる県立児童福祉施設が整備されている。
⑤	仕事と家庭を両立した働き方ができる職場環境が定着し、仕事から帰って育児に参加するお父さんが増えている。
⑥	女性が、出産・育児などライフステージに応じた自由かつ多様な働き方を選択することができる。

2 郷土を愛し自立した健康な子どもの育成

①	学校や地域における様々な体験を通じて、子どもたちが道徳性や豊かなコミュニケーション能力を身に付けている。
②	身近な地域の歴史や伝統文化に親しみ、郷土に誇りと愛着を持った子どもが育っている。
③	すべての子どもたちが基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、自ら考え、表現し、問題を解決する力を伸ばしている。
④	子どもたちが早寝早起き、食事、運動などバランスのとれた生活習慣を身に付け、健やかな体がはぐまれている。
⑤	子育てや家庭教育に悩んでいる保護者が気軽に相談できる環境が整い、家庭の教育力が高まっている。
⑥	子どもや若者が健やかに育つための地域コミュニティが形成され、地域には元氣で明るいあいさつの声が響き、家庭・学校・地域が一体となって、子どもや若者の成長を支えている。
⑦	子ども一人ひとりの個性が輝き、希望や能力を引き出すことができる学習環境が整っている。
⑧	子どもたちがいじめや暴力などに悩むことなく学校に楽しく通い、子どもや保護者などからの学校への信頼が高まっている。
⑨	障害のある子どもたちへの理解や支援が広がり、障害のある子どもたちと、障害のない子どもたちとが、地域で共に学び、子どもたちの笑顔があふれている。
⑩	ニートや引きこもり、不登校だった子どもや若者たちが、周りの温かい支援によって、生き生きと勉強や仕事に取り組んでいる。
⑪	子どもや若者を取り巻く有害な環境をなくすための取組が、地域全体で進められている。



出典：千葉県ホームページより

第Ⅲ項「経済の活性化と交流基盤の整備」

本県の特持宝・ポテンシャルを最大限に生かして、光り輝く千葉の魅力を全国に発信し、多くの人が訪れ、地域が活性化している。

また、産学官のネットワークにより新事業や新産業が生み出されるとともに、中小企業などの経営基盤が一層強化されることにより、挑戦し成長し続ける産業活動が行われ、経済が活性化している。

さらに、全国屈指の農林水産業が、地域を支える力強く魅力ある産業に育っている。

そして、成田国際空港都市や幕張新都心など、活力ある交流拠点都市が形成されるとともに、だれもが住みたくくなるようなまちづくりが着実に進んでいる。

1 光り輝く千葉の魅力を全国に発信

①	安全で新鮮、おいしい物なら「千葉県産」という評価が県民をはじめ全国の消費者に浸透し、食卓には千葉県産の野菜や果物、米、魚、肉、牛乳などの食材や色鮮やかな花が並べられている。
②	成田国際空港(以下「成田空港」という。)が東京国際空港(羽田空港)と、より短時間で結ばれ、一体的な活用が進み、成田空港は、アジアのゲートウェイとして多くの利用客でにぎわいを見せ、国際交通の起点になっている。
③	東京湾アクアライン(以下「アクアライン」という。)の活用により、首都圏の人や物の流れが大きく変わり、企業誘致が進み、観光客が大幅に増えるなど地域が活性化している。
④	アクアラインが使いやすくなり、首都圏の一体性が更に増して、房総半島に農家や農園を購入したり、週末を本県で過ごしたりする人が数多く見られるようになっている。また、温暖で過ごしやすくと評判になり、他都道府県から転入する人が増えている。
⑤	千葉の豊かな自然、名所・旧跡や祭りなどの文化、さらには農業・漁業体験など、千葉の魅力が全国に発信され、様々な目的を持った観光客・来訪者が、県内各地で一年を通じて見られるようになっている。

2 挑戦し成長し続ける産業

①	地域の特徴や強みを生かした産業が活性化するとともに、地域内外の産学官のネットワークが強化され、我が国の経済をリードする新事業・新産業が創出されている。
②	本県で生み育てられた独自の技術や新しいビジネスモデルを基に発展したベンチャー企業が、世界で活躍している。
③	県内の中小企業が自らの特徴を生かした事業を強化することによって、力強い産業活動を展開している。
④	新興国の台頭など、世界経済の変化を好機ととらえ、県内に立地している企業が新商品の開発や販路拡大に果敢に挑戦し、経済的な活力が増している。
⑤	地域の顔である中心市街地や商店街では、後継者が育ち、さらに新たに店を開いた人たちが定着して活気が戻り、ユニークなイベントも行われるなど、かつてはシャッター通りと呼ばれた場所が、にぎわいに満ちている。
⑥	県内の特色ある農産物や水産物などの地域資源を生かした新製品や新商品が数多く生み出され、県内はもとより全国に向けて販売され、優れたブランドになっている。
⑦	県の産業の持続的な発展の下で、年齢・性別・障害の有無などに関わらず県民がその持てる意欲と能力を発揮して明るく働いている。

3 地域を支える力強い農林水産業

①	消費者ニーズに敏感な生産者が、流通業者や外食産業などと提携した生産活動などにより、所得を増やし、本県の農林水産業が若者にとっても魅力があり、力強い産業に育っている。
②	機械化・省力化技術が普及し、大根・ねぎなど露地栽培で大規模な農業が行われている。また、野菜・花の栽培の施設化や、レタス・サラダ菜など植物工場での生産が進み、高収益で天候に左右されない農業が展開されている。さらに、これらによる雇用の増加などが地域の活性化に役立っている。
③	水田を活用した飼料生産も進み、国産飼料を中心とした畜産経営が展開されている。さらに、稲作の大規模化が進み、低コストで生産された千葉県のおいしい米が人気を博している。
④	県民が積極的に森林づくりに参加し、里山を中心とした美しい景観が保全されるなど、かけがえのない県民共通の財産として豊かな森林がはぐまれている。さらに、森林の恵みである県産木材が住宅や公共施設など身近なところで利用されている。
⑤	稚魚の放流、魚の住みやすい環境づくり、水産資源を計画的に利用する漁業の実施により、海・川が豊かになっている。また、生産・加工技術の更なる進展により、質の高い水産物を安定して供給し続けることのできる水産業が展開されている。
⑥	千産千消や食育の浸透などにより、都市と農山漁村の交流が進み、都市居住者が週末に農山漁村地域を訪れるなど、首都圏に位置する本県だからこそ体験できる「千葉型スローライフ」が定着し、にぎわいのある農山漁村が形成されている。
⑦	首都圏の台所を担う本県の農林水産業は、消費地への輸送距離が短いため、地球温暖化防止に貢献する産地として評価が高まっている。

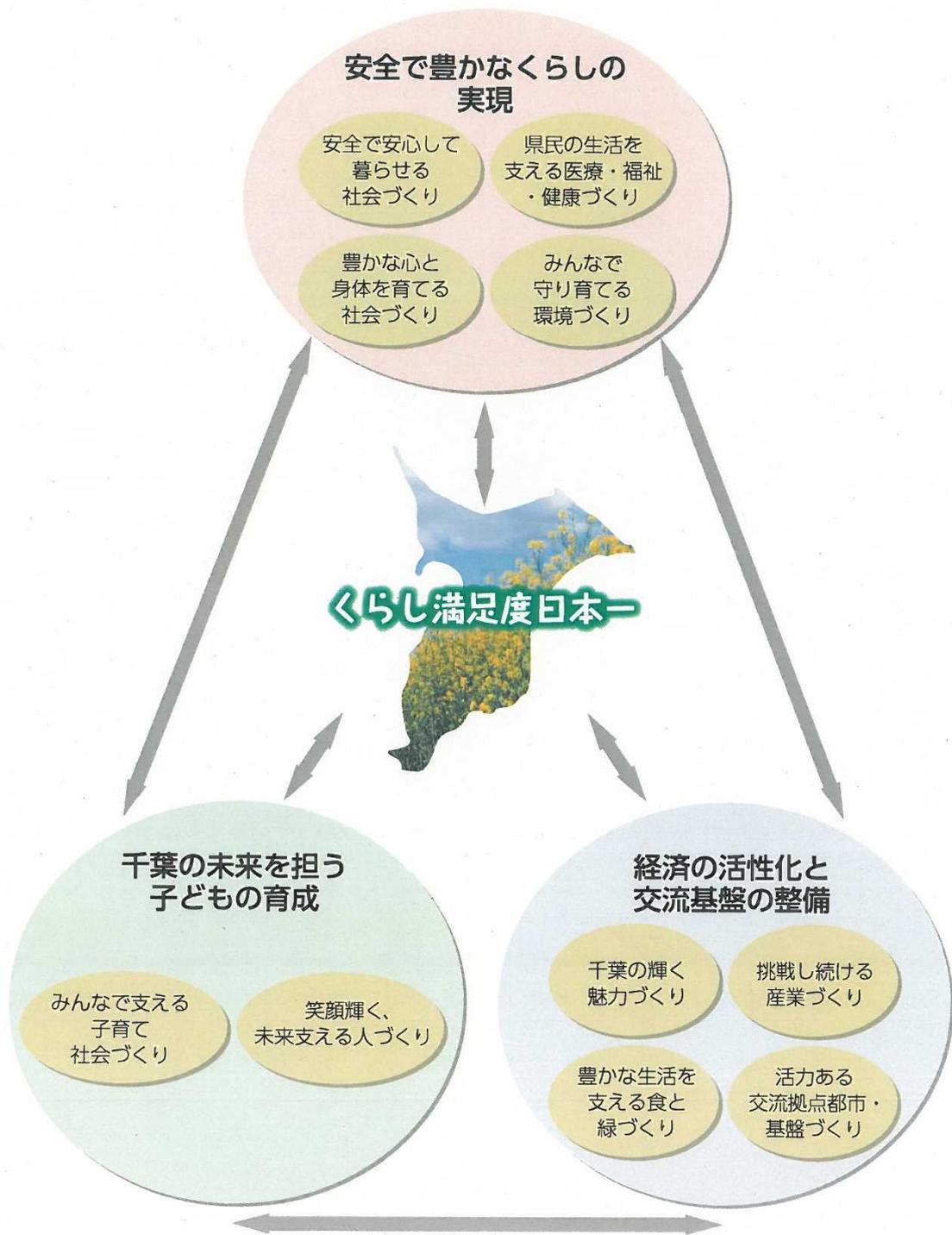
4 活力ある交流拠点都市の形成とだれもが住みたくくなるようなまちづくり

①	成田空港と周辺地域との、共生策が一層推進され、豊かな地域経済に支えられた世界に誇る成田国際空港都市になっている。
②	柏・流山地域は、東京大学や千葉大学など世界トップレベルの研究成果を国内外に発信し、外国人研究者などと地域住民が活発に交流し、安心して快適に過ごせる教育・住居・医療等の環境が整備された国際学術都市になっている。
③	幕張メッセのオープンでスタートした幕張新都心は30周年(平成31年)を迎え、「働く」「住む」「学ぶ」「遊ぶ」の4つの機能を併せ持つ都市「MAKUHARI」として、海外にも広く知られるようになり、経済、文化などの分野で国内外に魅力を発信する交流拠点都市になっている。
④	かずさアカデミアパークへの企業や研究所などの立地が進むとともに、アクアラインや首都圏中央連絡自動車道(以下「圏央道」という。)を通じた周辺地域・対岸との交流が活発になり、かずさ地域の産業が盛んになって人口が集積している。
⑤	圏央道や東京外かく環状道路4(外環道)などの広域的な幹線道路の整備が進み、成田空港へのアクセス強化や県北西部の交通渋滞が大幅に緩和されている。また、県内の多くの地域からおおむね1時間で県都千葉市に到達できるようになっている。
⑥	地域のことは地域で考え、決定・解決しようという意識が醸成されている。その結果、地域の創意工夫を生かした取組が活発に行われるようになり、地域に活力が生まれている。
⑦	地域の人たちが力を合わせて、その地域の特性を生かしながら活性化に取り組み、他地域と競い合っている。
⑧	中心市街地に活気とにぎわいが戻り、多様な価値観やライフスタイルに対応した居住環境の中で、人々が生き生きとした暮らしを営んでいる。
⑨	コンパクトでバリアフリー化されたまちづくりが進み、障害がある人も、高齢者も、だれもが安心して住むことができ、快適な暮らしを楽しんでいる。
⑩	住民自らが周辺の環境と調和した美しい街並みづくりに参加したり、緑豊かな自然を身近に感じたりすることができる公園で余暇を過ごすなど、県民がゆとりを持って地域のくらしを楽しんでいる。
⑪	県や市町村への申請、交付、手数料の支払などが24時間365日、家庭や事業所からパソコンのほか、携帯電話やテレビを利用して簡単に行えるようになるとともに、引越時に、電気・水道・ガスなどの転入手続きがまとめてできるワンストップサービスが実現している。



出典：千葉県ホームページより

「輝け！ちば元気プラン」の概念図



出典：千葉県ホームページより

図1-3.1 「輝け！ちば元気プラン」の概念図

② 沿岸市町の長期計画

沿岸市町の長期計画の中で、海岸に関連する主な取り組みを抽出し、以下に示す。

表1-3.2 沿岸市町の海岸への主な取り組み（沿岸市町の長期計画より）

区名	総合計画	キャッチフレーズ	計画期間	防災に係わる事項	環境に係わる事項	利用に係わる事項
浦安市	浦安市総合計画	人が輝き躍動するまち・浦安	H13～H22	・災害に強い都市づくりの推進 ・排水・治水対策の充実	・環境監視体制の充実強化	・水と緑のネットワーク化の推進 (緑道、遊歩道、サイクリングロード等の整備) ・水辺環境の総合的な活用の推進 ・海岸環境整備の促進 ・日の出・明海地区前面における海辺の交差点の開発促進
市川市	市川市総合計画「I&Iプラン21」 第二次基本計画	ともに築く 自然とやさしさがあふれる 文化のまち いちかわ	H23～H32	・総合的な減災対策の推進 ・自助・共助を基本とした地域防災力の向上	・生物多様性の確保 ・環境学習の推進 ・自然とのふれあいの機会の確保 ・三番瀬の水辺における自然との触れ合える場の創造 ・三番瀬の干潟化の推進	・水と緑を生かした景観の保全と活用
船橋市	船橋市総合計画後期基本計画 ふるさとふなばしプラン2020	生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし	H24～H32	・危機管理体制の強化 ・災害時の情報収集・伝達体制の整備 ・災害に強い地域社会づくり ・災害に強い都市基盤の整備	・三番瀬の保全・再生・利用の推進 ・三番瀬における環境学習の推進	・海を活かしたまちづくりの推進
習志野市	習志野市後期基本計画	市民一人ひとりが夢と輝きをもって 自己実現できる都市(まち) 習志野	H20～H26	・総合的な防災対策の推進	・干潟や海辺の保全と活用	—
千葉市	千葉市新基本計画	わたしから! 未来へつなぐ まちづくり	H24～H33	・防災対策の推進	・みどりや水辺の保全・活用	・やすらぎとにぎわいのある海辺の創出
市原市	市原市総合計画	ともに輝く、元気なふるさと いちはら	H17～H27	・災害に強いまちづくり	・自然に触れ合える環境学習の充実	—
袖ヶ浦市	袖ヶ浦市総合計画	「自立と協働のまち」 人いきいき、緑さわやか、活力あふれる袖ヶ浦	H22～H31	・防災・危機管理体制の強化 ・災害に強い体制づくり	・水辺環境の保全と水質浄化の推進 ・環境教育、環境学習の推進	・水と緑のネットワークづくりの推進
木更津市	木更津市基本構想	ひとにやさしく、環境と調和し、 誇りに満ちた創造のまち きさらづ	H10～H27	・災害に強い防災基盤整備の推進 ・避難体制や連絡体制等ソフト面での整備	・水資源の保護(生活排水等に対する総合的な対策) ・小櫃川河口干潟など自然環境の保全	・海釣り等の海面のレジャー・レクリエーション的利用と一体化した観光漁業の推進 ・自然海岸と干潟を活用した親水性のあるレクリエーション機能を備えた環境整備と新たな観光資源の創出 ・木更津内港におけるレジャー、アミューズメント空間、旅客船ふ頭、マリナー等の整備
君津市	君津市総合計画 (第3次まちづくり計画)	自然と個性の豊かな活力に満ちた都市 (たれもが輝く新生君津へのアプローチ)	H10～H27 (H20～H24)	・防災体制の整備	—	—
富津市	富津市総合計画 富津市第3次基本計画	躍動とにぎわい 安らぎとふれあいの交差するまち ふつつ	H23～H27	・災害に強いまちづくりの推進 ・防災意識の普及徹底 ・海岸の保全	・海岸の保全 ・自然公園の保全	・木更津港富津地区の整備 ・浜金谷港の整備 ・美化活動の推進
館南町	館南町総合計画	みんなでつくる三ツ星のふるさと・館南	H23～H32	・災害予防対策・危機管理対策の強化	・自然環境の保護・再生 ・生活排水の適切な浄化の促進 ・環境保全対策の推進	・観光資源の充実とネットワーク化 ・スポーツ環境の充実
南房総市	南房総市総合計画 (前期基本計画)	ひと・ゆめ・みらい 地域で創る魅力の郷 南房総	H20～H29 (H20～H24)	・防災体制の強化 ・防災行政無線等情報連絡体制の強化	・自然環境の保全と共生 ・環境学習の推進 ・海岸環境の保全・整備 ・景観まちづくり活動の促進	・漁港の整備 ・ブルーツーリズムの推進による漁村の活性化 ・地域の特色を活かした観光拠点の整備・充実 ・魅力ある海岸づくりの推進
館山市	館山市基本計画	輝く人・美しい自然 元気なまち館山	H23～H27	・防災対策の推進 ・館山湾多目的(防災・安全・環境)利用プロジェクト ・地域防災計画の充実	・環境保全事業の推進 ・館山湾多目的(防災・安全・環境)利用プロジェクト ・自然保護思想の普及 ・海域環境の保全 ・環境学習の推進	・海を活かしたまちづくり ・ビーチ利用促進モデル事業の促進 ・地域の特性にあった景観の形成 ・「海・浜のルールブック」の普及促進・充実 ・館山港の整備・利用促進

2) 地域住民の声

なの花県民会議の開催結果、ならびにホームページやリーフレット等にて寄せられた意見を総括し、海岸への要請として取り上げるべき事項を整理すると、以下のようになる。

① 防護に関する意見

- ・ 高潮・波浪や津波への対策の推進
- ・ 海岸侵食への対応
- ・ 地球温暖化への対応
- ・ 海岸景観や自然環境に配慮した防護施設整備

表 1-3.3 地域住民からの意見（防護関係）

分類	該当地区	意見の要旨	住所	メディア
防護関係	海岸全般	地球温暖化による海面上昇への対応について、ご検討願いたい。	夷隅郡大原町	ホームページ
	富津市・鋸南町境 ～ 富津岬	防護面で、海岸線の道路が狭いなど、未だ不十分な場所が多い。	君津市	リーフレット
	富津岬～都県境	当該地区では、都市的施設（重厚長大産業など）が集積しているため、海岸の防護を基本に検討願いたい。	市原市	リーフレット
	洲崎 ～ 富津市・鋸南町境	当該地区では、砂浜の侵食対策や、津波対策は急務である。	安房郡富浦町	リーフレット
	洲崎 ～ 富津市・鋸南町境	豊岡・原岡海岸には堤防が無い箇所があり、高波浪時は危険である。当該地区では、海岸の防護を基本に検討願いたい。	安房郡富浦町	リーフレット
	洲崎 ～ 富津市・鋸南町境	台風や強風時には、海岸沿いの道路が通行止めになるため、車が多い国道を通らなければならず、危険である。安全な海岸道路が欲しい。	安房郡富浦町	リーフレット
	海岸全般	海岸の景観や自然環境に配慮し、また多目的用途に対応した防護施設の整備を願いたい。	千葉市稲毛区	ホームページ
	洲崎～富津岬	富津から館山にかけては、大きな波浪の影響が少なく、海岸と住居が接近し、沿岸域が開発されている。人間の侵入が原因で海からの災害をうけやすい場所となっている。また、岩井海岸の右岸の侵食が激しいようである。	鴨川市	ホームページ
	洲崎 ～ 富津市・鋸南町境	館山湾の海岸線は、貴重な海の観光資源となっている。海岸の高潮対策も大事であるが、これからの対策は、自然の海岸をいかに残していくかであり、そのような高潮対策をお願いしたい。	館山市	なの花会議
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境 (検見川の浜)	自然石等を用い、親水性を考慮した施設整備が要望されている。	—	検見川の浜 市民意向調査

② 環境に関する意見

- ・ 砂浜や干潟の保全・創造
- ・ 貴重な動植物の保護
- ・ 漂着ゴミ等への対応
- ・ 海岸での植栽など緑地整備の拡充

表1-3.4 地域住民からの意見（環境関係）

分類	該当地区	意見の要旨	住所	メディア
環境関係	海岸全般	海亀などの生物にも優しい海岸環境の保全に留意し、事業を進めて頂きたい。	大原町	ホームページ
	富津市・鋸南町境 ～富津岬	海岸保安林の保全、海岸での植栽などを推進して欲しい。	君津市	リーフレット
	洲崎～ 富津市・鋸南町境	近年、砂浜が減少し、浜辺の草花が無くなってしまったので自然環境保護の検討を願いたい。	富浦町	リーフレット
	海岸全般	これ以上の東京湾の埋立を禁止し、かつての自然海岸の復元に努めて頂きたい。また、海岸に人の立入禁止区域を設けて欲しい。	千葉市	ホームページ
	富津岬～ 市原市・袖ヶ浦市境	富津岬では現在、ゴミの不法投棄や漁業資源保護、動植物保護の問題があると聞く。これらの問題の解決のためには、利用者のモラル向上が必要であり、関係機関や地元が連携した指導活動や広報活動が求められる。	千葉市	ホームページ
	市原市・袖ヶ浦市境～ 都県境	検見川の浜では年々魚が減っており、“自然”が減っているのを実感する。	千葉市	ホームページ
	富津市・鋸南町境 ～富津岬	市町村・ボランティア・利用客などの連携も含め、ゴミ対策の検討を願いたい。	君津市	リーフレット
	海岸全般	特に富津岬などでは、ゴミ問題がここ数年悪化した。行政の抜本的対策を要望する。	埼玉県	ホームページ
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境	行徳の鳥獣保護区は、海から飛来してくる鳥のためにも確保し、市民の憩いの場としてほしい。	市川市	なの花会議
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境	谷津干潟の保全に対して、本年度から国でも助成を始めたが、県からも是非助成金をお願いしたい。	習志野市	なの花会議
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境	谷津干潟での保全の取組みの経験を十分学んで、三番瀬の保全にも生かしてほしい。	習志野市	なの花会議
	洲崎～ 富津市・鋸南町境	館山湾の沖ノ島の浅瀬は、サンゴ生息の北限域として世界的にも注目されるサンゴの里海であり、すばらしい海であることから、生息環境を保護するとともに、国の天然記念物に指定できないか。	館山市	なの花会議
	洲崎～ 富津市・鋸南町境	館山栈橋は、海ホテルを年間通して観察できる唯一の場所であることから、海ホテルの観察地として位置付けてほしい。	館山市	なの花会議
	洲崎～ 富津市・鋸南町境	館山湾にはサンゴや海ホテルなど海の生物がたくさん生息していることから、私たち市民も汚れた水を海に流さないことを心がけたい。行政も下水道や浄化施設の整備を推進しているが、海全体を守るために、これからも推進してもらいたい。	館山市	なの花会議
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境 (検見川の浜)	砂浜スペースの拡大が要望されている。	—	検見川の浜 市民意向調査
海岸での植栽、生物生息環境の創造等が要望されている。		—	検見川の浜 市民意向調査	
海岸でのゴミの放棄等に対して、利用マナーの向上や、ボランティア活動の推進が要望されている。		—	検見川の浜 市民意向調査	

③ 利用に関する意見

- ・ トイレ・遊歩道など便利施設の整備
- ・ 便利施設のバリアフリー化
- ・ 年間を通しての海岸利用の促進
- ・ 水際線の開放
- ・ 歴史遺産等の有効活用
- ・ 不法係留船舶への対策の推進
- ・ 海岸利用のルールづくり

表1-3.5 地域住民からの意見（利用関係）

分類	該当地区	意見の要旨	住所	メディア
利用関係	海岸全般	県内に公共のマリーナをもっと整備して欲しい。蘇我駅周辺の再開発に併せて、千葉港の再開発も行うと聞いたが、ぜひマリーナの整備を検討願いたい。	千葉市	ホームページ
	海岸全般	海岸利用の規制標識や利用マップの作成など海岸利用のルールについて、検討願いたい。	大原町	ホームページ
	富津市・鋸南町境 ～富津岬	各種イベントの開催など、年間を通しての集客方法を考えて頂きたい。	君津市	リーフレット
	富津岬～ 市原市・袖ヶ浦市境	海岸利用に関するルールづくりや利用者への広報活動について、検討願いたい。	千葉市	ホームページ
	富津岬～都県境	県民が海と接するラインを設け、新たなライン沿いに人工磯を整備して欲しい。また、水際線の開放後に、ゴミ対策や利用者マナーの向上についても検討願いたい。	市原市	リーフレット
	海岸全般	新たなマリンスポーツが可能な海岸づくりを検討して欲しい。また、海岸へのアクセス向上やバリアフリー化についても検討願いたい。	千葉市	ホームページ
	海岸全般	現状は、公共のスロープがなく不便している。プレジャーボートの係留施設を整備して欲しい。	松戸市	ホームページ
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境 (検見川の浜)	サーファーの事故が度々発生している。突堤や離岸堤は危険であるため撤去して欲しい。	千葉市	ホームページ
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境 (検見川の浜)	検見川の浜の駐車場は、もっと長く利用できるようにして欲しい。またバーベキューができる施設を整備して欲しい。	千葉市	ホームページ
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境 (幕張の浜)	自然にやさしく、1年中利用できる海の家をつくり、海の景色と共に落ち着ける空間をつくって欲しい。	千葉市	ホームページ
	海岸全般	海岸にローラーブレードが出来る歩道をつくって欲しい。	東京都中野区	ホームページ
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境	現在のコンクリート式護岸は、人の水辺への出入りを阻害する護岸である。昔のような豊かな水辺環境づくりをお願いしたい。	市川市	なの花会議
	富津岬～ 市原市・袖ヶ浦市境	木更津市の中心市街地は、駅から海岸までの距離はないが、道路が狭い。鉄道の高架化により木更津駅の西口と東口をつなぎ、また、海岸の方にある県企業庁の遊休土地を木更津市に寄付して、ゆとりと奥行きのある街をつくり、木更津市の活性化につなげてほしい。	木更津市	なの花会議
	洲崎～ 富津市・鋸南町境	沖ノ島は、縄文時代の貴重な遺跡が存在し、当時の生活の痕跡もたくさん残っている。本物の遺跡を見てもらいたい。	館山市	なの花会議
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境 (検見川の浜)	トイレ・手洗場・遊歩道等の便利施設や駐車場の拡充等が要望されている。	—	検見川の浜 市民意向調査

④ その他の意見

その他海岸保全基本計画に関する意見を表1-3.6に示す。

表1-3.6 その他海岸保全基本計画に関する意見

該当地区	意見の要旨	住所	メディア
その他	海岸保全基本計画を、紙面および電子情報の形式で自由に閲覧できるような措置をお願いしたい。また、必要な方には、CD-ROM等の形で情報提供できるようにご検討願いたい。	千葉市	ホームページ
海岸全般	白渚海岸の成果を、千葉県の海岸全体に生かせるよう、検討願いたい。	鴨川市	ホームページ

⑤ 三番瀬に関する意見

三番瀬海域に関して寄せられた意見を表1-3.7に示す。

表1-3.7 三番瀬に関する意見

分類	該当地区	意見の要旨	住所	メディア
防護関係	三番瀬	・塩浜地区護岸の恒久的整備を願いたい。	市川市	リーフレット
		・高潮、台風能耐えられ、陥没しない護岸の整備を願いたい。		
		・近代的な護岸の整備を緊急に対応して欲しい。		
		・緩傾斜護岸にするべきである。		
		・沖合に消波ブロックを設置して欲しい。		
・第二湾岸道路を考慮しての護岸を希望する。				
環境関係		・自然環境を大事にしながら経済の活性化をはかれる環境づくりが望ましい。		
		・砂浜を希望する。		
		・里海の再生が必要である。		
		・海辺に松林があると海浜環境の眺めがよい。		
		・緩やかな勾配をもった自然の浅瀬にして欲しい。		
利用関係		・陸を削る以外の方法で、自然環境を守るべきである。		
		・工業地帯であるが緑と海の利点を生かした海岸の整備を願いたい。		
		・市民が楽しめる海岸を求める。		
		・市民がアクセスできる海岸を求める。		
その他	・市民が親しめるボードウォークを期待する。			
	・協議会経由で要望書を提出済なので早期の回答を望む。			
	・海を生活の場としている漁業者の意見を取り入れて欲しい。			
	・以前のように漁場全体が使用できるようにして欲しい。			
		・護岸の一部には漁港も含まれており、環境保護だけでなく総合的なプランが必要である。		

3) 公聴会

- 平成 15 年 3 月 1 日（土）10:30～12:00
習志野会場（京成津田沼駅ビル・サンロード 6 F 大会議室）、参加者 5 5 名
- 平成 15 年 3 月 1 日（土）14:30～16:00
木更津会場（木更津市民総合福祉会館 1 F 市民ホール）、参加者 6 5 名
- 平成 15 年 3 月 2 日（日）10:30～12:00
館山会場（館山商工会議所 2 F 会議室）、参加者 7 0 名

上記、公聴会にて寄せられた主な意見について、防護・環境・利用のそれぞれに関する意見、その他及び三番瀬に関する意見に分類・整理した。

① 防護に関する意見

表 1 - 3. 8 公聴会における意見（防護関係）

分類	会場	意見の要旨	住所
防護関係	習志野会場	人工海浜(稲毛、検見川、幕張)における砂浜の維持への対応はどのように考えているのか。	浦安市
		地球温暖化への対応についてはどのように考えているのか。	
	木更津会場	富津岬は侵食しているところもあるが、最近では落ち着いていると思う。侵食対策として、安易に養浜等を行っても、沖へ流出することも考えられ、慎重にご検討願いたい。	富津市
		マツ林の前面が侵食傾向にあり、対策を考えて欲しい。	君津市
	館山会場	富浦漁港周辺の海岸では、最近侵食が進行している。早急な対応をお願いしたい。	富浦町
		館山湾全体で考え、堆積箇所の砂を利用して、養浜する事を考えてはどうか。	館山市
		岡本川の導流堤により、侵食が進んでいるため、検討願いたい。	富浦町
	FAX	防潮堤を構築する場合は、海岸と陸地を断絶することがないよう考慮して欲しい。	館山市

② 環境に関する意見

表1-3.9 公聴会における意見（環境関係）

分類	会場	意見の要旨	住所
環境関係	習志野会場	河川等から流入する窒素やリンによる富栄養化や青潮が問題となっているが、水質環境の改善は、どのように考えているのか。県では、エアレーション等も検討していると聞いている。	習志野市
		千葉県では環境問題への意識が非常に強いので、今後は是非ともご配慮願いたい。また長期的なビジョンとして、人命を守ることと環境との調和が必要と思う。	習志野市
	木更津会場	牛込漁港周辺では、ゴミの漂着やアオサの発生により漁場環境が悪化している。これまでも県の方へお願いしたが、漁場環境の改善やアオサ対策については是非ともお願いしたい。	木更津市
		人命を守るとともに、自然に影響を与えない防護を考え、今ある自然を極力残して欲しい。	君津市
		木更津ではウラギクやハママツナなどの植物が存在しているが、工事の影響もあり、最近非常に少なくなっている。また、干潟の浄化能力は非常に高い。今後、漁業や環境への影響を重視してほしい。	木更津市
		小櫃川の河口の中州は、コンクリートなどで守るのではなく、自然の地形等により守るようご検討願いたい。	君津市
		干潟の再生にあたっては、工事による再生ではなく、自然による再生をお願いしたい。	君津市
	館山会場	北条海岸は、客観的にみてあまり水質はよくない。自然の姿に戻して欲しい。	館山市
		海岸の植生が少なくなっているので、配慮して欲しい。	富浦町
	FAX	海は自然のままにしておくべきであり、やむを得ない危険地帯に限定して対応するべきである。	千葉市
		水面を小さく区切らず、自然に作られた地形を大切にしたい。事業にあった施設か疑問なものもあるので、目的にあった施設を造ってもらいたい。	館山市
		海岸の植樹については、熱帯性植物ではなく、松などがよいと思う。（清水市の三保の松原のように）	館山市
		盤洲干潟の底生動物（特にアサリやカニなど）が貧弱になってきているので、水産研究センター等の専門家の意見も聞き、豊かな干潟を復活して頂きたい。これはアマモ場やコアマモ場がなくなっていることが影響していると思うので、藻場の復活を漁組とも話し合って進めて欲しい。	君津市
		館山市の北条海岸は歴史ある海水浴場であるため、十分、自然に優しい開発計画にして欲しい。	館山市

③ 利用に関する意見

表1-3.10 公聴会における意見（利用関係）

分類	会場	意見の要旨	住所
利用関係	習志野会場	海水浴利用の拡充はどのように考えているのか。	浦安市
		葛南地区においては、親水空間の拡充をお願いしたい。	船橋市
	木更津会場	盤州干潟はたいへん貴重な場所であり、多くの人々に接して欲しいが、トイレや駐車場がなく、ご検討願いたい。	君津市
		富津岬においては、天然記念物級の植物群落が存在しているが、最近少なくなっており、布引海岸にはまだ残っている。しかし、自動車等の乗り入れの問題等もあり、立入規制等をお願いしたい。	
	館山会場	利用客等が増えると、海岸の植生にも影響があるため、利用区域の設定等を検討してはどうか。	富浦町
		ジェットスキーは、海水浴やダイビング等に対して危険であり、利用区域の設定等を考えて欲しい。	館山市
		プレジャーボート等の保管施設を整備して欲しい(有料でもよい)。	
		北条海岸のボードウォークの完成はいつか。また、ボードウォークは砂に埋まっているところもあり、放置すれば腐ることもあり、適切なメンテナンスが必要である。	
以前も土木事務所へ要望書を提出したが、館山にビーチバレー場、子供向けの公園、市民用スロープを整備して欲しい。	館山市		

④ その他の意見

表1-3.11 公聴会における意見（その他）

分類	会場	意見の要旨	住所
その他	習志野会場	第二湾岸道路・フェニックス計画との整合性はどのように考えているのか。	浦安市
		河川と海岸との整合性はどのようにお考えか。菊田川などでは、河道内への波の進入への対応や水質改善への対応はどのように考えているのか。	習志野市
	木更津会場	木更津・富津ゾーンの記述において、シオギクと記述があるが、シオクグあるいはウラギクではないか。ご確認願いたい。	千葉市
		基本計画の中に水循環という視点が必要ではないか。千葉県では、地層マップ等が作成されており、参考としてはいかがか。	木更津市
		環境部局(自然保護課、水産課等)の参加はどのようにお考えなのか。	君津市
	海岸の地域会議は、是非ともお願いしたい。		
	館山会場	北条海岸の突堤や階段式護岸を撤去し、自然の姿の海岸にして欲しい。その撤去材は、魚礁ブロックや駐車場の敷石等に用いてはどうか。	館山市
		直立式の防潮堤は環境に影響を及ぼすので、自然のものを利用した防護について検討して欲しい。	富浦町
		新井海岸は、館山で唯一残った自然の海岸であり、工作物を造らないで欲しい。	館山市
		海岸事業に際し、館山湾全体を対象としたシミュレーションや水理模型実験等は実施されているのか。シミュレーション結果などから、侵食する場所や潮流の変化等がわかるのではないか。	館山市
		北条海岸では、養浜砂に山砂を使用しているためか、足元が沈むこともあり、子供にとっては危険である。	館山市
	FAX	砂浜の海水浴場に護岸・突堤等を造ると危険と思う。護岸・突堤等を造ったことによる反射波等も考えるべきと思う。	館山市
		魅力ある海岸づくり会議は、誰もが自由に参加できる形であって欲しい。	館山市
いたずらに外国の有名観光地の景観を模倣するのではなく、地域の特性を生かして欲しい。			

⑤ 三番瀬に関する意見

表1-3.12 公聴会における意見（三番瀬関係）

分類	会場	意見の要旨	住所
三番瀬 関係	習志野会場	市川の塩浜護岸は暫定の護岸であり、高さが4～5m程度しかなく、台風時に非常に危険である。また不法係留の問題や護岸裏込砂の吸い出し等の問題もある。円卓会議の結果を待っている間に災害の恐れもあるため、保全区域を前に移し、早急な対策をお願いしたい。	船橋市
	FAX	葛南ゾーンについては「三番瀬円卓会議」の結論を見て海岸保全計画を決めるという事だが、災害は待ってくれない。「海岸保全」は「生命と財産」を守ることが大前提である。	市川市
		塩浜地先の暫定護岸は高さが5m前後で、鋼矢板が技術的に危険な状態であるため、台風の度に自己防衛（休業・早期避難等）を余儀なくされている。（約50社、従業員約1000人）	
		海岸保全区域を塩浜1丁目～2丁目の護岸線に設定することにより、護岸の整備が早期に着工されると確信している。	
		JR市川塩浜駅を中心とした塩浜2丁目地区は、市川市と共働し、環境共生の街づくりを推進しているので、親水性のある「安全」な護岸の整備計画にして頂きたい。	
	三番瀬の中間まとめや護岸・陸域小委員会の中間報告、海域小委員会の中間報告等をPRのために配布しても良かったのではないかと。	千葉市	

4) ちばづくり県民コメント制度（パブリックコメント）

平成25年度の変更の際に実施したパブリックコメントと関係市町、海岸関係者への意見照会で寄せられた意見を表1-3.13に示す。

表1-3.13 パブリックコメント等における意見

分類	意見の要旨	意見者
防護に関する意見	保全区域が途切れている河川については、水門を設けて川への津波の侵入を防ぐべきと考えます。	関係市町
	本市は、高潮位の方が津波高よりも高いため、被災頻度が高いと想定されます。また、海岸線が長く、沿岸地域に住宅が密集しており、多大な被害が想定されるため、海岸保全施設のうち未整備箇所について早急な整備をお願いします。	関係市町
環境に関する意見	東京湾沿岸は貴重な動植物の生息域でもあり、津波・高潮対策に関しては生息・保全に十分配慮することを要望します。	一般の方
	特にお願いしたいのは、景観的な側面です。観光に従事し、地元に住んでいる者にとって、万が一もちろん大切ですが日々の生活をどのような環境で過ごすかも重要なポイントです。堤防を作るとしても、見る人の美的感覚を重視するよう特にお願いします。	海岸関係者